

大東民報

議会版

日本共産党
大東市議会議員団
大東市谷川1丁目1-1
TEL 072-871-5588

3月市議会おわる

旧同和・人権施策の「見直し決議」が可決 人権地域協への委託金を減額修正 平野屋会所の保存決議も

三月議会が22日に終了しましたが、最終日に「人権関係団体とのあり方に対する決議」「平野屋新田会所の保存を求める決議」の二本が全会一致で採択されました。

旧同和施策の見直しをめぐっては四党派が決議案を提出。各派調整の結果、(1)人権関係団体に実施している事業について、市政に対する市民の信頼を一日も早く回復するため、説明責任を果たす、(2)人権関係団体への全ての委託事業について、早急に見直しを実施する、(3)北条・野崎両地域協への市職員の派遣について早急に見直しをはかる、の三点を盛り込んだ「人権関係団体とのあり方にたいする決議」が採択されました。

これは「ヒューネットだいたい」職員の給与不正取

得問題に端を発して、これまでの日本共産党の一貫した追及が実を結び市議会内で旧同和施策全般の見直し機運が高まった結果です。

また平野屋会所の保存をめぐっては、過去に請願が採択されていますが、競売の結果、民間企業の落札が決まり、民間開発の危機が迫っているなかで改めて「決議」採択となったものです。



「公明新聞」の不当な攻撃 ・歪曲に反論します

「公明新聞」3月23日付で、大東市議会での公明市議の質問にたいする岡本市長の答弁を取り上げ、「上三箇保育所民営化に反対した日本共産党に乳幼児医療費助成の年齢拡大を実績とする資格はない」かのような攻撃と歪曲が報道されています。見解を表明します。

(1)日本共産党は平成18年の代表質問など機会ある毎に乳幼児医療費助成の拡充を市議会で取り上げ、平成19年度の「予算と施策」についての「要請書」でも盛り込んでいます。

さらに三月議会で年齢引き上げのための「乳幼児医療費の助成に関する条例」改正に日本共産党は賛成し、全会一致で可決しています。

(2)一方、日本共産党が公的保育の後退をもたらす上三箇保育所の民営化や市民のためにならない問題点がある一般会計予算に反対するのは当然で、公明党も国会で野党時代には予算に反対していません。民営化や予算への反対を理由に「実績ではない」というなら、公明党も野党時代は実績なしになります。しかし同党は与党であれ野党であれ実績を宣伝しているのですから御都合主義で、共産党だからダメは通用しません。

そして「野党であれ、いいものはいい」というのが本来の行政の立場で、岡本市長の答弁は公明党への御機嫌とりと言われかねないものです。

(3)公明党は「上三箇保育所の民営化で一億数千万円が浮いた」という市の言い分を踏襲して「この財源を使つて年齢を引き上げた」といいますが、翌年ならいざ知らず、毎年毎年、「浮く」というのは財政上あり得ません。一億も「浮く」というのは平成22年頃に保育士が大量退職する時点のことです。しかし事實は民営化当時、保育士の退職は数人で、大多数は他の保育所等に移動し、保育士給与の総額はさほど変わりません。反対に民営化の受託法人に委託費数千万円を新たに支出している状況です。

今回、年齢拡大が実現した背景には、昨年度に大部分が本庁の職員約百人が退職し、市も認める人件費の大幅削減があります。

(4)公明党こそ、この三月議会で「乳幼児医療費助成の拡充」の項目を含んだ大東保育連の「陳情」を否決した「矛盾」を市民に、どう説明するのでしょいか。



・090-8939-5743



・090-3864-5037



・090-1079-8939

市議員

まさひろ

市議員

つとむ

市議員

かつこ

法律相談

4月2日(月)
夜 7時
市民会館
予約制です
TEL 871-5588 まで

07年三月議会 「じやぎ議員の一般質問

地域人権協への市職員派遣をやめよ

解同主催の集会への職員参加はやめよ

市職員が北条で二人、野崎で二人が派遣されて人権協の仕事をしているが、こうした不正常なやり方は即刻、是正すべきだがどうか。また、これらの職員が本来業務に従事しなくても所属部課の仕事がやっつけられるのなら、人権センターや青少年教育センターの職員数を削減すべきだが、どうか。

奈良市では「解同」が主催する、あるいは「解同」が加わる実行委員会主催の集会への職員参加を取りやめるということが報道されていたが、本市もやめるべきだが、どうか。

解同などとの交渉に市長・部長の出席はやめよ

他の市民団体の要望には通例、係長が出席、せいぜいでも課長が出席する程度なのと比べて異常突出だ。この際、見直すことを強く求めるが、どうか。

(答) 必要に応じて判断する。

カラオケ店の火災予防について

宝塚のカラオケ店で火災が発生、死者が出る痛ましい事件が発生したことをきっかけに、カラオケボックスは閉鎖的な空間で、火災発生を認識するのが遅れたり、避難が困難になる危険性があることが改めて浮き彫りとなった。

水路利用計画の見直しについて

二月の街づくり委員会協議会で水路計画の見直し案が提示されたが、地元の見解は聞いたのか。また水路延長を区間を区切って考えれば、「せせらぎ」区間と埋める方が良い区間に分類できると思うが、どうか。

(答) 地元の見解はまだ聞いていない。事業の具体化時に聞く。



ゴミの分別収集

プラスチックとペットボトルの分別収集が始まりますが、私が以前から取り上げてきた点でもあり、評価するものですが、市民への周知徹底は大丈夫か、また分別拡大に伴う経費はどうなるのか。

(答) 説明会を自治会単位に開くなど周知徹底に努力している。今回の分別収集拡大に要する経費は二億六千万円。一方、収集委託費の見直しによって

約一割節減して、七三九〇万円の減で、差し引き一億八千万円の増だ。

ダイエー建替について

住道ダイエー敷地南端の駐車場だった場所に新しく大きな建物が建ち、この完成後、次は現在ダイエーが入っている建物を建て替える計画が浮上している。

しかし問題点として、(1)新しい建物の南端にゴミ置き場ができることで、向かい側のダイエーパレス住民などが猛反対をしていること、(2)建替に伴う進入路としてダイエー西側を南北に走る一方通行の道路を拡幅する案が浮上していること、がある。

ダイエーパレス住民は、ゴミ置き場設置に反対する署名を集め、一方通行道路に面した商店の圧倒的な意見は「幅の広い道路が必要なら、自分の敷地内で取ればよい。市道だからと取り込むのは困る。対面通行になれば、商売が成り立たなくなる」というものです。

開発にあたっては周辺の住民や商店の意見を良く聞いて、調和のとれた計画にすべきです。

この住道北側開発は、以前にJR周辺整備特別委員会があった当時、ダイエーを東西に貫く道路計画が描かれた図面が委員会に提示されていた。それなのに、知らない間に計画が変更され、東西道路がなくなっている。行政が事業者を追従するだけでは議会軽視であり、変更なら変更案を議会に示すべきだが、どうか。

(答) 事業者からゴミ置き場は一部変更すると聞いている。西側一方通行道路は、(指摘があるので)さらに検討が必要。東西道路については正式に断念の通知はなく、第二期工事の時点で事業者と協議していく。

